

氏名	越智幸一	部署	社会福祉子ども学科	職名	教授
研究分野	発達心理学・教育心理学・臨床発達心理学				
学位	修士（人間・環境学）				
学歴	1993年京都大学 教育学部 教育心理学科、95年京都大学大学院 人間・環境学研究科 人間・環境学専攻修士課程、98年京都大学大学院 人間・環境学研究科 人間・環境学専攻博士課程				
経歴	1998年旭川大学女子短期大学部助教授、2007年西オーストラリア大学心理学科客員研究員、08年旭川大学女子短期大学部准教授、09年旭川大学女子短期大学部教授、13年鎌倉女子大学短期大学部教授、18年埼玉県立大学保健医療福祉学部教授				
所属学会（役職）	日本発達心理学会、日本教育心理学会、日本特殊教育学会、日本発達障害学会、日本保育学会				

【2019年度実績】

1. 研究業績						
(1) 著作						
	著作の名称	単・共	ISBN	発行所、全ページ数	著者、編者名	発行等年月
1	乳児保育 I	共著	あり	一藝社、p.131	大崎利起子、越智幸一、小林祥子、笹野つる子、佐藤秋子、鈴木康弘、谷川友美、中野由美子、西山里利、橋本恵子、馬場結子、寶川雅子、松好伸一、丸橋亮子、谷田貝円、吉田直哉	2020.3
2						
3						
(2) 論文						
	論文の名称	単・共	査読	雑誌名、巻（号）、開始-終了ページ	著者、編者名	発表等年月
1	該当なし					
2						
3						
(3) 学会発表						
	学会発表の演題	単・共	学会名、開催都市	発表者（発表者は○印）	発表等年月	
1	保育者への意欲が高まる実習の在り方に関する研究 ～保育所と学生双方の実習に対する意識の実態から～	共同	日本保育者養成教育学会、福山市	○寶川雅子、 <u>越智幸一</u>	2020.3	
2						
3						
(4) その他						
	名称	単・共	発表場所等	発表者（発表者は○印）	発表等年月	
1	保育者への意欲が高まる実習の在り方に関する研究 ～保育所と学生双方の実習に対する意識の実態から～	共同	2019年度全国保育士養成セミナー、ブロック研究助成報告、神戸市	○寶川雅子、 <u>越智幸一</u> 、田中君枝	2019.8	
2						
3						
2. 競争的資金等の研究						
	競争的資金等の名称	研究名		研究代表者・研究分担者の別	研究期間	
1	該当なし					
2						
3						

3. 教育業績						
(1) 講義						
	講義の名称	科目責任者	コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）		
1	保育の心理学Ⅰ	○	15	パワーポイントのスライドとビデオ資料とを有機的に組み合わせ、学生にとって子どもの発達を理解しやすい工夫をした。		
2	保育の心理学Ⅱ	○	15	さまざまな事例を用い、学生に考察してもらうようにし、より実践的な知識を身につけてもらえるよう工夫をした。		
3	心理学①	○	15	授業の最初にプレテストを実施したり、授業の最後に確認テストをするなど、小テストを活用しながら、学生の理解度を深める工夫をした。		
4	心理学②	○	15	授業の最初にプレテストを実施したり、授業の最後に確認テストをするなど、小テストを活用しながら、学生の理解度を深める工夫をした。		
(2) 演習						
	演習の名称	科目責任者	コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）		
1	乳児保育演習Ⅰ	○	15	さまざまな事例についてグループワークの形式で取り組んでもらうことにより、保育現場で求められる知識やコミュニケーション能力の向上を目指した。		
2	乳児保育演習Ⅱ	○	15	子ども役、先生役、保護者役などを設定し、学生にロールプレイをしてもらうことにより、知識や技能を実際に保育現場で生かせるよう工夫した。		
3						
(3) 実習						
	実習の名称	科目責任者	学外実習：期間 学内実習：コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）		
1	ヒューマンケア体験実習	○	2019.9	科目責任者として科目運営に携わった。		
2	保育実習Ⅰ A		2019.4～2019.9	事前事後指導、訪問指導を行った。		
3	保育実習Ⅰ B		2019.10～2020.3	事前事後指導、訪問指導を行った。		
4	保育実習Ⅱ		2019.4～2019.9	事前事後指導、訪問指導を行った。		
5	保育実習Ⅲ		2019.4～2019.9	事前事後指導、訪問指導を行った。		
6	教育実習（幼）Ⅰ		2019.4～2019.9	事前事後指導、訪問指導を行った。		
7	教育実習（幼）Ⅱ		2019.4～2019.9	事前事後指導、訪問指導を行った。		
(4) 論文指導						
	対象	期間	主指導・副指導の別及び指導人数			
1	卒業論文	2019.4～2019.11	主指導	3名	副指導	名
2			主指導（指導教員）	名	副指導（指導補助教員）	名
3			主指導（指導教員）	名	副指導（指導補助教員）	名
(5) その他						
	名称	期間	概要（教育内容・方法等において工夫した点）			
1	該当なし					
2						
3						
4. 社会貢献活動						
(1) 講演会、研修会、公開講座等の講師						
	講演会、研修会、公開講座等の名称	主催	講演、研修、公開講座等のテーマ		開催年月	
1	こどもと保護者の心理学入門研修	横浜市こども青少年局	こどもと保護者の心理学入門		2019.12	
2						
3						

(2) 国、自治体、学術団体等における委員等			
	国、自治体、学術団体等の名称	委員等の名称	任期
1	埼玉県立大学保健医療福祉科学学会	理事	2019.4~2020.3
2			
3			
(3) ジャーナリズムでの発言			
	メディア等の名称	内容	年月
1	該当なし		
2			
3			
(4) その他			
	項目	相手方等	内容 期間
1	該当なし		
2			
3			
5. 学内運営			
	項目	内容	期間
1	全学的委員会及びセンター業務等	福祉子ども学専攻専攻長	2019.4~2020.3
2			
3			
6. 受賞（研究、教育、社会貢献活動に関するもの）			
	受賞名	主催	受賞年月
1	該当なし		
7. 特許の取得			
	特許名	特許番号	登録年月
1	該当なし		
8. 特記事項			